

あいちオレンジタウン構想 認知症に理解の深いまちづくりモデル事業

岡崎市のテーマ：最期までおいしく食べよう～「食」を通した多職種連携～

【本研究の背景・目的】

認知症の予防、早期発見および進行防止については様々な因子が関与しているといわれています。そのひとつに栄養状態が挙げられています。すなわち適切な栄養状態を維持することが認知症の予防や進行防止に有効であり、また、不適切な栄養状態の早期発見が認知症の早期発見にもつながるというものです。本研究では高齢者を対象に、栄養状態を含めた健康状態をチェックすることで認知症の予防、早期発見および進行防止につながる有用な因子を検索しようというものです。

【対象となる患者さん】

2018年4月から2023年3月までの当院もの忘れ外来の受診者、在宅高齢者および介護施設入所者を対象とします。

【調査方法】

全対象者に認知機能、精神状態、栄養状態、嚥下機能、生活状況などの各種検査・アンケート調査を行います。また、当院もの忘れ外来の受診者では頭部CT・MRIなどの画像検査や血液検査などの各種検査結果、診療録にある薬物療法、経過記録を収集します。これらはいずれも通常の診療の枠内での調査であり、患者さんに新たな負担はありません。

【個人情報の取り扱い】

本研究で利用する情報は研究対象者の個人情報を特定できないように(匿名化)します。また、研究結果は個人が特定できない形式にて学会等で発表を予定しています。

【研究の方法】

本研究は当院の臨床研究審査委員会の承認のもとに実施されます。国が定めた指針に基づき、口頭や文書による対象者からの同意は得ておりません。対象者が本研究で利用を予定している各種情報の利用を希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡・ご相談ください。

【研究の方法】

〒444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町五所合 3-1

岡崎市民病院 認知症疾患医療センター

☎0564-66-7474

研究責任者：脳神経内科 小林 靖